

様式 A 地域貢献（地域共同テクノセンター運営委員会）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	地域貢献 Regional Contribution		単位 1
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・融合科目・ その他	授業形態・学期	その他・通年
	対象学生	総合理工学科 2～5 年生	必修・履修・必履修選 択・選択の別	選択
	担当教員・所属			
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	国語・英語・公民		
	学習教育目標との関 連	本科目は「⑤グローバルな視点と社会性の養成」, 「⑦コミュニケー ション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。		
	技術者教育プログラ ムとの関連	本科目が主体とする学習・教育目標は「(B)地球の視野に立った人間性の 育成, B-2: 地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し, 説 明できること」である。		
	授業の概要	地域の社会活動や国際交流活動に計画的に参加し, 交流活動報告書を提 出する。		
	学習目的	地域社会への貢献活動を, 主体的に計画しそれを実施することにより, 地域の現状について体験的に考え, さらに今後一人の人間として社会的 に生きるとは何かということについて深く学習することを目的とする。		
	到達目標	1. 地域社会の実情を理解し, 社会性を身につける。 ◎ 地域への貢献活動を通して, そこでの経済, 文化, 政治, 社会問題等を理 解し, 地域社会で主体的に生きる個人及び技術者としての姿勢・素養を培 う。		
履修上の注意		この科目を履修しようとする年度の前年度の適切な時期までに担当教員 を決定し, 担当教員に貢献活動の計画書を提出し, 貢献活動を実施する ことの了解をとらなければならない。その後, 所定の期日までに貢献願 等必要書類を提出しなければならない。また, 所定の期日までに選択科 目履修願いを提出すること。なお, 上記の担当教員決定時期, 教務係へ の提出時期等の詳細は掲示等で指示する。		
履修のアドバイス		自ら積極的に取り組む必要がある。		
基礎科目		国語, 人文・社会の科目, 英語・国際コミュニケーション推進プログラムの科目		
関連科目		全系横断演習, キャリアマネジメント, シナジーゼミナール, 医療福祉推進プログラム, 地域イノベーション推進プログラムの科目		

授業にかかわる情報			
授業の方法		個々に計画書を作成し，それに従って活動する。具体的な貢献活動内容は貢献機関のプログラムに従う。活動後に報告書を作成，提出する。	
授 業 計 画	開講週		内容〔項目〕(指示事項)
	前期	1 週 • ガイダンス 2 週 • 書類作成，手続き等の説明 3 週 • 貢献活動 1 日 8 時間を上限として合計 2 2 時間以上 4 週 • 同上 5 週 • 同上 6 週 • 同上 7 週 • 同上 8 週 • 同上 9 週 • 同上 10 週 • 同上 11 週 • 同上 12 週 • 同上 13 週 • 同上 14 週 • 同上 15 週 • 同上	
授 業 計 画	後期	16 週 • 貢献活動 1 日 8 時間を上限として合計 2 2 時間以上 17 週 • 同上 18 週 • 同上 19 週 • 同上 20 週 • 同上 21 週 • 同上 22 週 • 同上 23 週 • 同上 24 週 • 同上 25 週 • 同上 26 週 • 交流報告書の作成 27 週 • 同上 28 週 • 同上 29 週 • 同上 30 週 • 同上	
教科書，教材等		教科書：特になし 参考書：特になし	

成績評価方法	報告書により活動への貢献度，理解度等を判定し，100 点満点で評価する。 合格した者は担当教員に申し出るとともに，学年末試験の最終日までに教務委員会へ単位取得申請を行うこと。
受講上のアドバイス	交流活動は指定された機関において行うことで必要なので，該当する機関であるかどうか，よく確認すること。また交流活動に必要な経費は，すべて自己負担である。

ルーブリック							
	優	良	可	不可			
評価項目 1	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し，その詳細を説明できる。	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し，その基本事項を説明できる。	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し，その基本事項を概ね説明できる。	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し，その基本事項を説明できない。			
評価項目 2	貢献活動を積極的に展開し，その意義を理解し，詳細に説明できる。	貢献活動を積極的に展開し，その意義を理解し，その基本事項を説明できる。	貢献活動を積極的に展開し，その意義を理解し，その基本事項を概ね説明できる。	貢献活動を積極的に展開し，その意義を理解し，基本事項を説明できない。			
評価項目 3	公共心を持ち，他人や自分の独創性について詳細に表現することができる。	公共心を持ち，他人や自分の独創性について基本的に表現することができる。	公共心を持ち，他人や自分の独創性について概ね表現することができる。	公共心を持ち，他人や自分の独創性について表現することができない。			
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	報告書	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	60	0	60
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	40	0	40